



## 改めて「教育」について思う

○ 「教え育てる」と書いて「教育」。  
一言で教育といっても多種多様です。  
家庭教育、学校教育、社会教育、生涯教育、人権教育、安全教育、キャリア教育、等々。

○ 一般的に、教育の主体は指導者、  
学習の主体は学習者であると認識されています。しかし、これからの時代は、**教育の主体も学習者になるよう、工夫を施すこと**が重要です。



○ 私は、**教育とは「学習者が、教わったことを生かして自ら育つ営み」**であると捉えています。それには、学習者が**「自ら育つ」**よう、**「教え育てる」**ことが必要です。

○ 授業では、子供の発達段階に応じて**「自立した学習者」**の育成を目指すことが求められます。学習指導要領の三つの柱のうち、**「学びに向かう力・人間性等」**を他の二つの柱と併せ、丁寧に育むことが必要です。

### 真の経営者

イセキ開発工機社長 鈴木幸雄

日々の業務をいかにうまく処理する社長でも、それだけで終わるのではプロの経営者とは言えません。それらの業績を基に、3年、5年先の会社のあるべき姿を見通し、積極的な手立てを打ってこそ真の経営者と言えらると思います。

出典：「成功への名語録」（講談社編 講談社）

※ 中期のあるべき姿を実現するために必要な手立てを講じておく。近未来への種まきも忘れずに。